

令和2・3年度 墨田区教育委員会 研究協力校

研究主題

「主体的・対話的で深い学びの評価」

～生徒の意欲を向上させる評価の仕方～

研究紀要



緑化運動ポスター原画コンクール入選作品 2年 北 華乃音

令和3年12月

墨田区立豎川中学校

研究紀要目次

研究主題	「主体的・対話的で深い学びの評価 ～生徒の意欲を向上させる評価の仕方～」	ページ
はじめに	墨田区立堅川中学校 校長 織部 明広	1
第1章	研究の概要	2～3
	1年次まとめ	4～6
	2年次まとめ	7～9
第2章	研究実践	
	(1) 実践① 数学科 学習指導案	10～12
	実践② 英語科 学習指導案	13～18
	(2) 校内研修会まとめ	19
	講師 聖徳大学教授 河村 久 先生	
	(3) きらめきシート 各教科	20～45
	(4) きらめきシートのルーブリック 各教科	46～60
副校長挨拶	墨田区立堅川中学校 副校長 遠藤 博則	61
研究に携わった本校教員		

はじめに

校長 織部 明広

本校は、「主体的・対話的で深い学び」への取組については、平成28・29年度東京都道徳教育推進拠点校の研究、及び平成30年度特別の教科 道徳～別葉・評価～の研究を通して、本校教職員が研究実践し、共通理解を図る取組をしてまいりました。この研究成果を踏まえて、本校は令和2・3年度 墨田区教育委員会研究協力校として、また新学習指導要領の全面実施に向けての必要不可欠な研究として、研究主題「主体的・対話的で深い学びの評価」を掲げ、各教科の特質に合わせ、生徒の意欲を向上させる評価の仕方に視点を置き授業改善を展開してきました。今回の研究では、新学習指導要領に記載されている観点「主体的に学習に取り組む態度」をどのようにして見取り、具体的に評価に結び付けていくかに視点を置き、「評価材料」を選定し、客観性の有る具体的評価に生かすワークシートの作成を試みました。また生徒の記述等により評価規準となるループリックを作成し、授業実践を重ねました。そのことにより、生徒一人ひとりの授業に主体的に取り組む態度に変容がみられ、学力向上につながりました。これらの成果を一過性のものとせず、不断の努力を重ねワークシートやループリックの作成の精度を高め、今後も生徒の主体的に学習に取り組む態度の向上に努めて参ります。

結びにあたり、本校の研究に際し、本校の研究アドバイザーとして2年間を通じてループリック作成のためのご講義をいただき、教師一人一人に直接ご相談に乗っていただいた 聖徳大学 大学院 教職研究科児童学部 児童学科教授 川村 久先生に心より感謝申し上げます。

令和3年12月

第1章 研究の概要

研究主題

主体的・対話的で深い学びの評価 ～生徒の意欲を向上させる評価の仕方～

【主題設定の理由】

新学習指導要領改訂に伴い整理された評価の観点のうち「主体的に学習に取り組む態度」を具体的な評価にどのように結び付けていくかという課題を探っていきたいと考えた。新学習指導要領に示されている育成すべき3つの資質・能力のうち「学びに向かう力、人間性等」で観点別学習状況の評価を通じて見取ることができるとされているものが「主体的に学習に取り組む態度」である。どのように評価すれば、客観性を担保しながら説明責任を果たすことができるか、かつ生徒の学習意欲の向上につなげられるか具体的な方向性を見いだすとともに、実践研究を積み重ねて全教職員の共通理解を図りたいと考えこの主題を設定した。

【研究の内容と重点】

内容

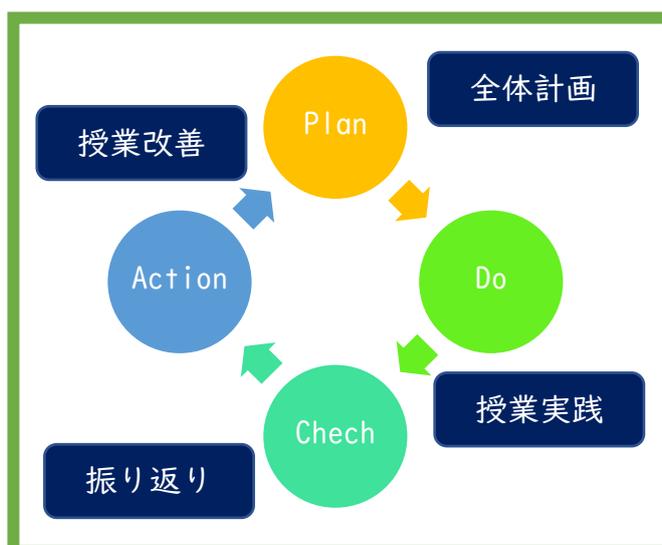
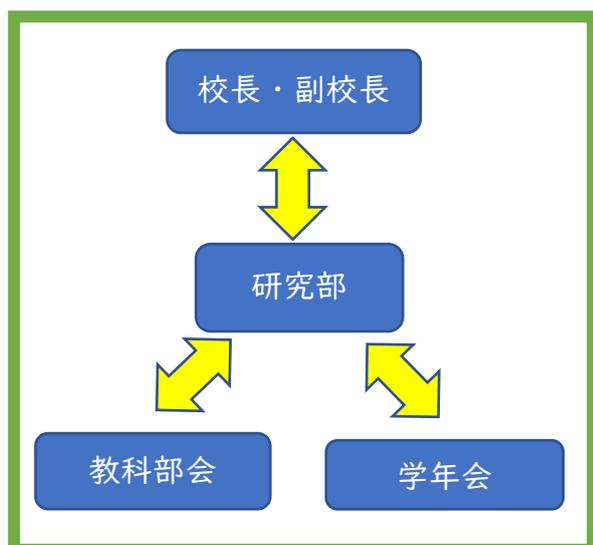
- 1 令和3年度から全面実施された新学習指導要領の趣旨を全教員が理解する。
- 2 適切な評価をし、生徒の意欲を向上させる。
- 3 適切な評価を生み出す具体的な手だてとしてワークシート（名称は「きらめきシート」）を作成する。
- 4 ルーブリックを作成する。

重点 「主体的に取り組む態度」の適切な評価

- 1 粘り強く学習に取り組む態度、自らの学習を調整しようとする態度の適切な評価
- 2 具体的評価ツールとなる「きらめきシート」作成への取組
- 3 評価基準、評価規準の作成

【研究組織図】

【本研究における PDCA サイクル】



【研究の経過】

年月	内容	P D C A
令和2年度	3 研究メンバー決定 テーマ決定 アドバイザー決定 年間計画立案	P
	4 研究チーム発足	D
	6 校内研修会 アドバイザー 聖徳大学 教職実践センター長 大学院教職研究科・児童学部児童学科 教授 河村 久 先生	C A
	8 情報収集 先行研究〈数学科・英語科〉	D C A
	9 研究テーマを基に先行研究者による授業実践及び改善	D C A
	10 校内研究授業〈数学科・英語科〉	C
	11 アドバイザーと研究部員とのミーティング及び成果の共有	A
	1 リーフレット作成	D
	2 リーフレット区内配布	D
	3 校内研修会 研究発表 アドバイザーによる校内研修会 次年度へ引き継ぎ	D C A P
	令和3年度	4 研究チーム発足 引継ぎ事項確認 異動職員への周知 年間計画確認
6 校内研修会 アドバイザーによる校内研修会		D C A
8 計画について再確認		P
9 全教科で研究テーマを基にした授業の実践 各教科校内研究研修会 各教科きらめきシートへの取り組み開始		D C A D C A
10 生徒アンケート実施 きらめきシート進行確認 ループリック作成進行確認		D C A
11 校内研修会 アドバイザー来校の校内研修会 各教科から質疑応答		D C A
12 研究発表会 研究授業 紀要等配布		D C
1 区内報告会		C A

1 年次まとめ

1 研究主題について

(1) 主題設定の理由

「主体的・対話的で深い学び」については、平成 28 年・29 年度東京都道徳教育推進拠点校の研究、及び平成 30 年度特別の教科 道徳～別葉・評価～の研究において、実践し、学校全体で共通理解している。この研究成果を踏まえて、各教科の特質に合わせた「主体的・対話的で深い学び」の授業を展開している。このような学校全体の授業実践を基礎として、今回の研究では、新学習指導要領改訂に伴い整理された観点「主体的に学習に取り組む態度」を具体的な評価にどのように結び付けていくかという課題を探っていきたいと考えた。新学習指導要領にある資質・能力の三つの柱の一つである「学びに向かう力、人間性等」で観点別学習状況の評価を通じて見取ることができるとされているものが「主体的に学習に取り組む態度」である。評価についてはどのようにすれば、客観性を担保しながら説明責任を果たせるものとなるのか、かつ生徒の学習欲を向上させるものにつながるかということについて、本校ではまだ具体的な取組が明確になっていない。そこで、評価について具体的な方向性を見いだすとともに、実践研究を積み重ねて全教職員の共通理解を図りたいと考えこの主題を設定した。

(2) 研究のねらい

今年度、本校がこの研究を進めるにあたり、核となるチームを構成した。進路指導主任を中心とし OJT を行った。チームはベテラン、中堅教諭、2 年目の若手教師 2 名で構成されている。担当教科は、進路指導主任と若手 1 名が数学、中堅教諭が理科、若手教諭が英語、ベテランは特別支援教育担当で研究主任である。チームを中心とし以下の 2 点をねらいに設定し研究を進めた。

第一に、核となる研究チームの成果を、全教員に共通理解させることである。研究チームは、新学習指導要領の趣旨を踏まえた上で、理論から明確な具体策を提示し、実践するための手だてを周知していく必要がある。令和 3 年度から、新学習指導要領における観点で、学習状況の評価していく。全員がその趣旨を理解し適切な評価をしていかなければならない。そのために、今年度は、核となる研究チームの試行を全教員で共有する取組を始めた。各教科の特性も配慮しながら、教員が趣旨の共通理解を目指すものである。

次に、評価に関連する様々な課題や疑問を、解決していくことである。現行の学習指導要領における評価の観点「関心・意欲・態度」にある評価規準が「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準と合致するのか、どうかについても明らかにしていかなければならない。また、研究を進めていく中で見付かった検討課題も、同様に考えていく必要がある。検討課題は後述し、解決を目指すものである。

検討課題として挙げられたものは以下の通り。

主体的に取り組む態度の評価に対する教師の気付き
・評価規準をどのように作成し、どのように評価するのか。

- ・学習のまとめとして、自己評価ワークシートを導入したが、その自己評価シートの記述が苦手な生徒（外国籍の生徒、文章表現が苦手もしくは困難な生徒）の評価の工夫。
- ・一人の教師が、生徒全員の「主体的に取り組む態度」の評価を授業中に評価する工夫。
- ・学習理解度が思うように上がらず、授業に対して無気力になっている生徒を、どのような評価の工夫で意欲向上させるのか。
- ・グループ学習の際、グループ評価はA、個人の評価はCという場合の工夫。
- ・数値化することが困難な評価で、客観性を担保する工夫。

2 研究の内容

(1) 研究の重点

本校の研究の重点は、「主体的に取り組む態度」の趣旨を全教員に周知し、共通理解を図ることで、適切に評価する仕方を研究することである。このことを重点にした理由は、以前の道徳推進研究をして一定の成果があったためである。道徳授業の終末に、積極的な発言や適切な行動を認め称賛することで、生徒の行動変容が見られた。このことから、適切な評価の仕方によって、生徒の授業に向かう意欲的な態度を育成できるということが検証された。授業に向かう意欲的な態度は、生徒の学習意欲向上、学力向上につながっていくと考えられるため「評価の仕方」を重点とした。

(2) 研究授業報告

①数学科の工夫～ジグソー学習を活用した授業～

ジグソー学習の取組で、本来評価されるべきところである数学の解法理解ではなく、理解できたかのような文章記述が評価されてしまうという課題を見いだすことができた。そこで、確認テストをし目標達成度を測り適切な評価につなげた。

授業者自評

本時の同位角・錯角と平行線の応用問題について5つの解法を考えさせた。5つの班のうち1つの解法を各班で考えさせ、その考えをまとめて班員全員が他者に説明できるようにした。1つの班の中に5種類の解法を説明できる生徒が集まるように班を再編成し、班の中でそれぞれの解き方を共有するといったジグソー学習を取り入れた。また、各班員に説明が不十分の生徒がいた場合は、班員内で支え合うよう助言した。ワークシートには、共有した解き方と自己評価を記述させ、主体的に学習に取り組む態度を評価した。今後も主体的に学習に取り組む態度の評価方法を研究していく。

②英語科の工夫～ABCの3段階評価～

英語科では、評価の規準を基に、チームティーチングでグループ評価を試みた。評価をしながら授業を展開していくことの困難さもあって、どのように正当な評価をしていくのかという課題を見いだすことができた。

授業者自評

今回の研究授業では「主体的に学習に取り組む態度」をどのように評価していくかをテーマとしているため、三単現を使った他己紹介をする中で、生徒が自ら誤りに気付き訂正していくことをねらいとした授業構成にした。グループ活動を中心に行い、その中で教え合い活動を促し、生徒が自ら意欲的に話し合い活動に参加することができているかを評価した。また発表時の評価、振り返りシートを活用した内容確認テストの評価など、授業内に評価すべきことが多く、1人の教員が1時間の授業展開の中で正当な評価をする難しさを感じた。評価の焦点をしぼり、その中でどのように「生徒が自ら学習を調整しようとする態度」と「粘り強く学習に取り組む態度」を確実に評価していくかが今後研究していく課題の1つであると気付くことができた。

3 まとめと今後の課題

本校の研究アドバイザーとして、河村 久先生(聖徳大学教授)を招き、研修会の講師、研究チームの研究授業等で、多くアドバイスをいただいていた。以下のような指導の内容をまとめとし、今後は年間計画に沿って研究を継続していきたい。

次年度への課題として、「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準をどのように作成し、評価するのか、どのような生徒の変容を評価するのか等、実践し積み重ねることが大きな財産になると考えた。学習態度の評価については、学習に対する理解度で評価するのではなく、学習目標に関連した結果を導き出そうと、試行錯誤する姿を評価の対象とする方法を見いだしていく。

2 年次まとめ

1 研究主題について

(1) 研究主題の見直しについて

昨年度の研究主題「主体的で対話的で深い学びあいの評価」から二ヶ所を見直した。第一の見直しは、「主体的で対話的」という文言を学習指導要領の文言に合わせて「主体的・対話的」とした。第二の見直しは、「深い学びあい」の部分である。従来であれば、生徒同士の話し合い活動が行われることで、活発な議論が交わされ、学びを深めていく予定であった。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学習方法について工夫する必要が出てきた。そこで、「学びあい」を「学び」とした。研究副主題については、昨年度と変更はない。

昨年度の主題設定の理由に、「評価についてどのようにすれば客観性を担保しながら説明責任を果たせるものになるのか、かつ生徒の学習意欲を向上させるものにつながるのか」という記載がある。今年度は、この部分について、具体的に、どのようなツールを使い、どのような方法で、評価するのかを明らかにし、教職員全体の共通認識を図りながら評価の方向性を出していく。

(2) 研究のねらい

昨年度、聖徳大学教職実践センター長 大学院教職研究科・児童学部児童学科 教授 河村 久先生より、「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準をどのように作成し、何ををもって評価するのか、どのような質的变化を評価するのかを年単位で作成していけたら大きな財産になる。この態度の評価については、学習に対する理解度で評価するのではなく、学習目標に関連した結果を導き出そうと、試行錯誤することを評価の対象とする方法を見いだしていくということである、という御指導をいただいた。この課題を受け、教員の財産ともなる評価規準の作成方法、これを導き出すツールの作成、および活用方法を求めていくことが研究のねらいとなった。このことにより、適正な評価を出すことができると考えた。

そこで、令和3年度は以下の4つの取組を中心に研究を重ねた。

- 1 新学習指導要領の趣旨を全教員が理解する。
- 2 適切な評価をし、生徒の意欲を向上させる。
- 3 適切な評価を生み出す具体的な手だてとして「きらめきシート」を作成する。
- 4 ルーブリックを作成する。

2 研究の概要

(1) 研究の重点

①「主体的に取り組む態度」の適切な評価

この研究の重点は、昨年度と変わらないが、今年度は以下の3つの項目で具体的に取り組んだ。

- 1 粘り強く学習に取り組む態度、自らの学習を調整しようとする態度の適切な評価
- 2 具体的評価ツールとなる「きらめきシート」作成への取組
- 3 評価規準の作成

昨年度から、数学科、英語科が先行して、研究を進めている。

②令和3年度の研究の流れ

河村 久先生のアドバイスを受け、以下の流れで研究を進めてきた。今年度の校内研修

会では、河村 久先生の講義内容をテーマに、研究協議会を行った。教師自身が議論し、質問し、主体的・協働的に学びを深めることで、教師自身のアクティブラーニングにつながった。昨年度も掲げていたが、教員全体の指導力の向上に寄与できた。

③成果物としてのきらめきシートとルーブリック

教師自身が研究や研修会を通して学んできた成果の一つに評価材料を導き出すワークシートの作成がある。それを本校では「きらめきシート」と名付け、全教師がそれぞれの教科の特性を生かしワークシートの作成を行った。その中で教科共通の項目として定めた内容は、以下の通りである。

- ア 各単元、各時間の目標が明確に書かれていること。ここでは何を身に付ければよいのか、生徒自身が理解した上で学習に臨めるようにしてあること。
- イ 生徒自身、もしくは他者との間でメタ認知を生かし俯瞰で学習の過程を観察できるようにしてあること。
- ウ 生徒自身がPDCAサイクルの流れで学習に臨むよう工夫してあること。

以上のことから、このワークシートを使い「自らの学習を調整しようとする側面」と「粘り強く取り組もうとする側面」を見取ることとした。

また、このワークシートを活用することで教科ごとのルーブリックを作成した。生徒の学習の成果を見取る中で、教師が仮定したルーブリックの修正が行われることもあった。このルーブリック作成は、河村 久先生に御指導いただき研修会を通し精度を高めた。この成果は、教科部会ごとの話し合いが活発になされていたことや、他教科との情報交換につながった。今回の「きらめきシート」は、共通項目を基に、各教科の特性が生かせるよう個々の教師により作成されている。このワークシートをルーブリック作成の手だてとして、実際の授業の中で個々に研鑽を重ねていった。この後掲載するルーブリックについては、A評価を基準に掲載している。研究を通して、教師全員が試行錯誤しながらルーブリック作成の過程を探っていくことができた。今後は、「主体的に学習に取り組む態度」だけでなく「知識・理解」「思考・判断・表現」の項目についても下図にあるような形で三観点のルーブリックを作成し、適切な評価につなげていけるようにしていく。

図 3 観点のルーブリックシート

評価の観点	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価基準	各教科の一単元における評価基準を記入するスペース		
達成基準	A	各教科の一単元における到達目標以上の記述が見られる場合の評価スペース	
	B	各教科の一単元における到達目標が記述されるスペース	
	C	各教科の一単元における到達目標に不十分な場合の記述スペース	

3 成果と今後の課題

① 評価のためのワークシートの工夫

今年度は、生徒の意欲を高める評価を全教諭が実施するための具体的な方法が課題の一つであった。そのためのワークシートを全教科・全教員で作成し、校内では「きらめきシート」と名付け作成した。この「きらめきシート」は「主体的に学習に取り組む態度」に焦点化して取り組んだことが成果である。

生徒の変容は、令和3年度10月実施の授業に関する評価アンケート「先生は自分が頑張ったことを認めてくれていますか」という質問項目から見取る。「主体的に取り組む態度」について、生徒の努力する姿勢や態度を教師が認めることは、諦めずに努力する態度を支え促進するものである。生徒のアンケート結果では、全学年全教科において、肯定的評価（そう思う・ややそう思う）が80%以上であった。

アンケート結果（数値は%）

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術・ 家庭	外国語
1年	85.6	82.7	88.5	88.5	91.3	92.3	88.5	87.5	86.5
2年	95.3	89.6	94.3	95.3	89.6	93.4	92.5	89.6	92.5
3年	84.0	92.6	93.6	89.4	93.6	93.6	95.7	86.2	91.5

8割以上の生徒が、自分の努力する姿勢や態度は認められていると回答している。生徒が安心して学習に取り組む姿勢が適切な評価により促進されていると読み取れる。

② ルーブリックの検討

意欲を高めるワークシートの評価のためにルーブリックの作成は不可欠なものである。そこで、ワークシートの工夫とともに適切な評価のためにルーブリックの工夫をし、その検討を行った。これまで、各教員がそれぞれに工夫してルーブリックを作成していた。今年度は各教科で各教員が作成したルーブリックを検討し合い、全体では数学、英語、美術を検討した。この共有する作業により、学校としての学習評価の妥当性・信頼性を高めることができた。今後は、「主体的に学習に取り組む態度」を見取るためのきらめきシートとルーブリックの作成だけに留めず、3観点全体の評価につなげていくことが必要である。また、本取組を一過性のものとせず次年度以降も継続して取り組み、指導と評価の一体化に努めていくことが重要である。そして、ルーブリックを「生徒の学習意欲を向上させる評価の仕方」に生かし、生徒の生きる力の育成に努めていく。

また、この2年間の研究を振り返ると、研究組織図に基づき組織的に活動ができた。管理職と研究推進委員のリーダーシップがあり、教員間での活発な議論や学びあう姿勢が見られたことは、教師自身が「主体的・対話的で深い学び」の活動に取り組んでいたことの証であり、成果として今後も続けていきたい。

生徒の課題は、さらに生徒自ら学びのPDCAサイクルを学習に生かしていくことである。自ら課題を設定し、自己評価、自己改善に努め、学びを進める態度を更に育成していくことである。

この研究を一過性のものとせず、豎川中学校の継続課題として改善し続けていく。

第2章 研究実践

(1) 実践①

第2学年 数学科 学習指導案

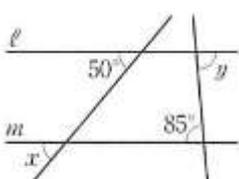
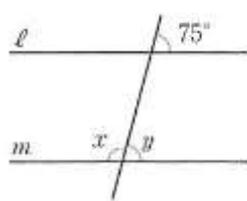
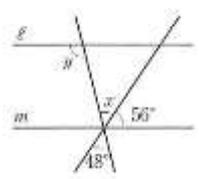
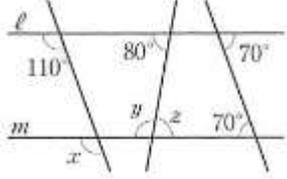
日時 令和2年10月30日(金) 第5校時
 対象 墨田区立堅川中学校 2年1組 40名
 場所 2年1組
 授業者 小曾根 慧汰

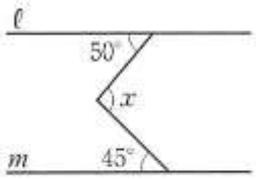
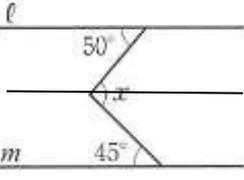
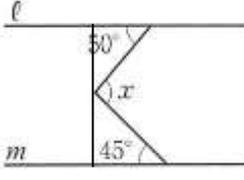
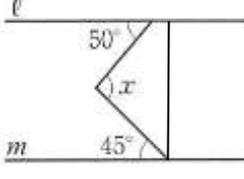
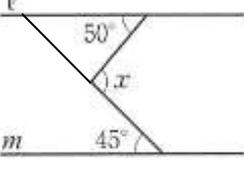
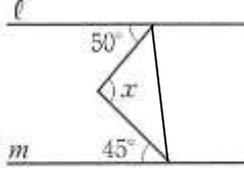
- 1 単元名 4章1節平行と合同 (教科書: 啓林館)
- 2 指導計画 (10時間扱い)
本時 第3時
- 3 単元の評価規準

観点 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む 態度
単元の 評価規準	対頂角、同位角、錯角の意味を理解し、対頂角の性質、平行線の性質、平行線になる条件を、相互に関連付けて理解している。対頂角、同位角、錯角の大きさを的確に求めることができる。	「対頂角は等しい、平行線の同位角・錯角は等しい」などのことから、帰納的な推論や類推を用いて予想し、その理由を考えることができる。	「対頂角は等しい、平行線の同位角・錯角は等しい」などのことから、帰納的な推論や類推を用いて予想し、その理由を粘り強く考えようとしている。

4 本時の学習計画

- (1) 本時の単元 同位角・錯角と平行線
- (2) 本時の目標
 - ・観察、教え合いを通して、対頂角の性質、平行線の性質について粘り強く理解しようとする。
- (3) 学習指導過程

段階	学習内容及び学習活動	指導上の○留意点●評価
導入 (5分)	<p><前時の復習を行う> $l//m$</p> <p>(1) </p> <p>(2) </p> <p>(3) </p> <p>(4) </p>	<p>○ICT 機器を用いて、クラス全体に問いかける。</p> <p>○対頂角、同位角、錯角の性質を理解しているかを確認する。</p> <p>▲発言 (主、技知)</p>

<p>展開 (35分)</p>	<p><平行な2直線に1つの直線が交わる場合について考える> $l//m$</p> <p>例</p>  <p>解き方1</p>  <p>解き方2</p>  <p>解き方3</p>  <p>解き方4</p>  <p>解き方5</p> 	<p>○個人で考えさせる時間を設ける。</p> <p>○4人班を10グループ作り、5つの解法のうち1つの解法を各班で考えさせる。考えをまとめて班員全員が他者に説明できるようにする。</p> <p>1つの班の中に5種類の解法を説明できる生徒が集まるように班を再編成し、班の中でそれぞれの解き方を共有する。</p> <p>また、各班員に説明が不十分の生徒がいた場合は、班員内で教え合うよう助言する。</p> <p>●ワークシート（主、思判表） 発表（主、思判表）</p>
<p>まとめ (10分)</p>	<p><本時のまとめを行う></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が解き方1～5を解説する。 ・自己評価プリントに記入する時間を設ける。 	<p>○生徒が間違っ理解を防ぐために解き方を確認する。</p> <p>○解法を正しく理解していた生徒は、教員の解説を通して理解を深め、生徒自身の教え方の向上を図る。</p> <p>解法を間違えて理解していた生徒は、間違えていた部分を改めて理解し、基礎学力の定着を図る。</p> <p>●ワークシート（主）</p> <p>評価A：与えられた解法を理解し説明しようとした記述と、その取組によって学習意欲が高まった記述がある。</p> <p>評価B：与えられた解法を理解し説明しようとした記述がある。</p> <p>評価C：与えられた解法を理解し説明しようとした記述と、その取組によって学習意欲が高まった記述がない。</p>

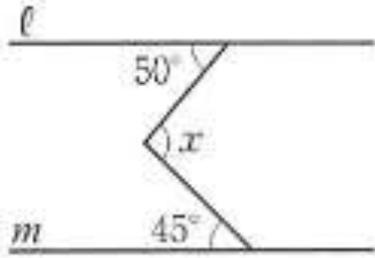
(4) 評価

- ・観察、教え合いを通して、対頂角の性質、平行線の性質について粘り強く理解しようとしていた。(知識・理解)
- ・解き方1～5について、粘り強く考えることができた。(主体的に学習に取り組む態度)
- ・教員や友達の解説を通して、理解を深めることができた。(知識・理解)

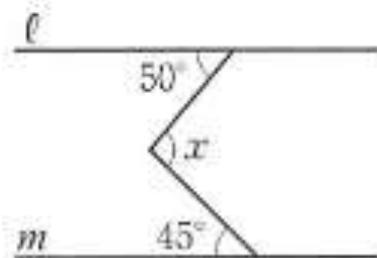
<平行な2直線に1つの直線が交わる場合について考える>

問題： $l \parallel m$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

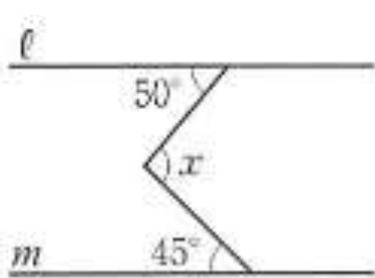
<個人の考え>



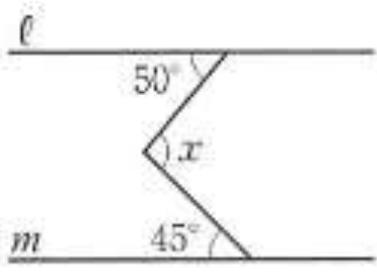
<解き方1>



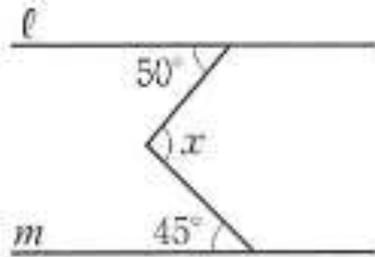
<解き方2>



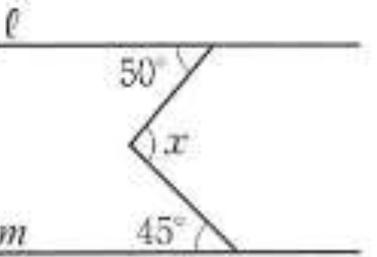
<解き方3>



<解き方4>



<解き方5>



今回の授業を通して

①努力したこと、②できるようになったこと、③今後できるようになりたいことを具体的な事柄(対頂角・同位角・錯角や補助線の入れ方等)を入れて書きなさい。

.....

.....

.....

.....

.....

(2) 実践②

第1学年 外国語科 学習指導案

日 時 令和2年10月30日(金) 第6校時
 対 象 墨田区立竪川中学校 1年3組 33名
 場 所 1年3組教室
 授業者 竹内 千晶

- 1 単元名 Unit6 New Horizon (東京書籍)
- 2 指導計画 (全6時間中の第1時間)
- 3 単元の評価規準

観点 評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の 評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。 	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な問題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合っている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>

4 本時の学習計画

(1) 本時の単元

言語材料 一般動詞の三人称単数現在形の肯定文、疑問文とその応答、否定文

(2) 単元の目標

- ・自分と相手以外の人やものについて話すことができる。
- ・自分と相手以外の人やものについて尋ねることができる。

(3) 本時の目標

- (ア) 三人称単数現在形を使ってクラスメイトを紹介することができる。
- (イ) 三人称単数現在形が使われたクラスメイトの紹介を理解することができる。

(4) 学習指導過程

時間	○言語活動等 (生徒)	○指導・支援 (教師)	評価基準 (観点) 「扱う領域」 <評価方法>
導入 8分	<p>○あいさつをする。 ・一斉にあいさつをする。 Good morning.</p> <p>○帯活動を行う ・ペアで Q&A 活動をする。</p>	<p>○あいさつをさせる。 ・あいさつをした後に質問をする。 Good morning. How are you today?</p> <p>○帯活動 ・ペアで Q&A 活動をさせる。</p>	<p>「話すこと [やりとり]」 <活動の観察></p> <p>【評価 A】 教師の助言がなくても意欲的・主体的に課題に取り組むことができている。主体的に学習に取り組む態度の観点で「十分満足できる」状況 (A) と判断できる。</p> <p>【評価 B】 教師が介入することで、課題に取り組むことができている。主体的に学習に取り組む態度の観点で「おおむね満足できる」状況 (B) と判断できる。</p> <p>【評価 C】 課題への取組意欲や学習意欲がない。主体的に学習に取り組む態度の観点で「努力を要する」状況 (C) と判断できる。</p>
展開 32分	<p>○本時の目標を確認する。</p>	<p>○教師の紹介文を聞く。</p>	<p>T: This is your goal for today.</p> <p>目標：「三人称単数現在形を使ってクラスメイトを紹介することができる。 三人称単数現在形が使われたクラスメイトの紹介を理解することができる。」</p> <p>○三単現を使った紹介文</p>

		の手本を見せる。	
	<p>T: Look at this picture. This is Emily. She is my friend. She lives in Australia. She usually <u>has</u> bread with vegemite for breakfast. She plays <u>netball</u> really well. She sometimes comes to Japan.</p>		
(10)	<p>○グループをつくる。 ○グループの一人についての紹介文の英作をする。</p>	<p>○グループをつくらせる。 ○見本を参考に三人称単数現在形を使った紹介文の英作ができるようにする。 ○巡回し、学習状況に応じて助言をする。</p>	<p>主・思 「話すこと [やりとり]」 <活動の観察> (グループ) 【評価 A】 教師の助言がなくても意欲的・主体的に課題に取り組むことができている。主体的に学習に取り組む態度の観点で「十分満足できる」状況 (A) と判断できる。 【評価 B】 教師が介入することで、課題に取り組むことができている。主体的に学習に取り組む態度の観点で「おおむね満足できる」状況 (B) と判断できる。 【評価 C】 課題の取組や学習意欲がない。主体的に学習に取り組む態度の観点で「努力を要する」状況 (C) と判断できる。</p>
(14)	<p>○全体で発表する。 ・ 1人1文はグループで作った紹介文の英文を読む。 ・ グループで紹介されている生徒は、他のグループの発表を聞いた上での教師からの質問に答える。</p>	<p>○全体で発表させる。 ・ グループの発表の中で個人の評価をする。 ・ グループで紹介されている生徒に、他のグループの発表内容の質問をする。</p>	<p>主・思 「話すこと [発表]」 <活動の観察> (個人) 【評価 A】 グループで話し合っ作った英作文を意欲的・主体的に発表している。主体的に学習に取り組む態度の観点で「十分満足できる」状況 (A) と判断できる。</p>

			<p>【評価 B】</p> <p>グループで話し合っって作った英作文を意欲的・主体的に発表しようとしている。主体的に学習に取り組む態度の観点で「おおむね満足できる」状況 (B) と判断できる。</p> <p>【評価 C】</p> <p>課題の取組や学習意欲がない。主体的に学習に取り組む態度の観点で「努力を要する」状況 (C) と判断できる。</p>
まとめ 10分	<p>○三人称単数現在形の復習をする。</p> <p>○各自グループで作った英作文を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤りがある場合は、正しく直す。 ・誤りがない場合は、教師が提示した三人称単数現在形を使った英作文をする。○Reflection Sheetで本時の目標に対する振り返りをする。 <p>○次時の学習について見通しをもつ。</p>	<p>○三人称単数現在形の復習をさせる。</p> <p>○各自グループで作った英作文を振り返らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤りがない生徒に、三人称単数現在形を使った英文を書かせることで、個人での理解ができているかどうかを確認する。 <p>○振り返りをさせる。</p>	<p>主・思</p> <p>「聞くこと」＜活動の観察＞</p> <p>ここで改めて三単現の復習をすることで、自分で書いた英作文を振り返らせる。誤りに自ら気づき訂正させる。</p> <p>主・思</p> <p>「書くこと」＜プリント＞</p> <p>ここで改めて三単現の復習をすることで、自分で書いた英作文を振り返らせる。誤りに自ら気づき訂正させる。</p> <p>主「書くこと」＜プリント＞</p> <p>活動を通して誤りがあれば、訂正し、言語材料を正しく理解しているかを確認する。</p>

(1) 板書計画

<p>Goal: 友達について紹介することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文法事項板書 ・練習問題 	<p>スクリーン</p> <p>パワーポイント</p> <p>教科書基本文・基本練習</p> <p>Listening</p>
---	---

Reflection Sheet

Class _____ No. _____ Name _____

Let's introduce your friend ☺

●	
●	
●	
●	
●	
●	
●	
●	
●	
●	
●	

Today's Topic:			
Date:	Evaluation (評価)		
	★グループで協力して話し合いができた	A	B C D
Partner:	★三人称単数現在形を使って友達の紹介ができた	A	B C D
	★三人称単数現在形が使われた友達の発表を理解できた	A	B C D
	★三人称単数現在形のしくみを理解できた	A	B C D

★聞き返す

Sorry?

Excuse me?

For example? (例えば?)

What do you mean? (どういう意味?)

★相づち

Uh-huh. (うんうん)

Yeah. (うん)

Really? (本当に?)

I see. (なるほど)

Me too. (私もそう)

Seriously? (本気で?)

Right. (そうだよ)

★話をつなぐ

Well... (ええと)

Let me see... (ええと)

By the way, (ところで)

Tell me more. (もっと教えて)

How about you? (あなたはどうぞ?)

★感想を述べる

Wow!

Great.

Good.

Nice.

Cool.

Wonderful.

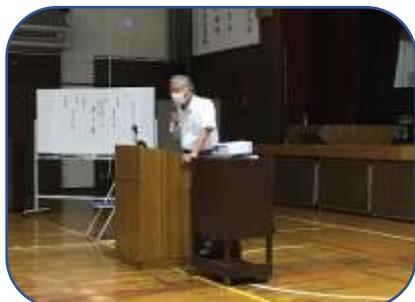
Interesting.

Exciting.

No	話題	Questions	Answers
1	名前	What's your name?	My name is <u> (名前) </u> . Nice to meet you.
2	曜日	What day is it today?	It's <u> Monday </u> .
3	日付	What's the date today?	It's <u> October twelveth </u> .
4	天気	How is the weather today?	It's <u> sunny / cloudy / rainy </u> .
5	体調	How are you?	I'm <u> good / fine / sleepy / hungry </u> .
6	～するの?	Do you + <u> 一般動詞 </u> ?	Yes, I do. / No, I don't.
7	好き?	Do you like ...?	Yes. I love it. / Yes, I like it. / Not so much. / No, I don't.

(2) 校内研修会まとめ

アドバイザーによる校内研修会



【実施日】 令和2年6月17日

【研修内容】

テーマ 主体的・対話的で深い学びの評価
～生徒の意欲を向上させる評価の仕方～

【講師】 聖徳大学 教職実践センター長
大学院教職研究科・児童学部児童学科
教授 河村 久 先生

先行研修者による研究授業

【数学科】 数学科の工夫～ジグソー学習を活用した授業～

ジグソー学習とは、「ホームグループ」→「エキスパート活動」→「ジグソー活動」という3つのステップに沿って学習が展開され、生徒は、対話を通して自分の体験や経験を意見交換し、様々な角度から答えを導き出すアクティブラーニングの方法の一つである。生徒は、グループ内で活発に意見交換し、新しいグループで解法を共有した上で、様々な解法について自らの考えを深めた。

学習のまとめに、自己評価シートの取組を行った。自己評価については、多くの評価を書ける生徒がいる一方で、外国籍であったり、表現の苦手な生徒については文章で書き表すことに課題があった。

グループ活動としては、活発に解法を探っていたにもかかわらず、個人の評価では、本来の評価されるべき数学の解法とは違う文章記述が評価されてしまう。この問題点をどのように解決していけばいいのかという課題を見いだすことができた。



【英語科】 英語科の工夫～ABCの3段階評価～

3人称単数現在の学習として、他己紹介を取り入れた。バランスを考えた教え合いのグループ編成をし、グループが機能しているかどうかの評価規準を作成した。

3つの規準

A：教師の助言がなくても意欲的・主体的に課題に取り組むことができている。主体的に学習に取り組む態度の観点で「十分満足できる」状況（A）と判断できる。

B：教師が介入することで、課題に取り組むことができている。主体的に学習に取り組む態度の観点で「おおむね満足できる」状況（B）と判断できる。

C：課題の取組や学習意欲がない。主体的に学習に取り組む態度の観点で「努力を要する」状況（C）と判断できる。

課題 ①記録の方法 ②グループ評価と個人評価の差異 ③客観性の担保

(3) きらめきシート 各教科

きらめきシート

「聞き上手になろう」の単元において、学んだことについて以下の質問に教えてください。
目標：よりよく聞くための方法、質問の仕方を身につけ活用することができる
1 「聞き方の工夫」や「質問の種類」に気を付けて話をきくことができましたか。 (できた ・ ややできた ・ あまりできなかった ・ できなかった)
2 よりよく聞くために、どのような工夫や心がけをしましたか？具体的に書いてください。(どんな場面で、どんな風に、どのくらい、どんなことを意図して、やってみての感想…)
3 友達の聞き方を見ていて、分かったこと、気づいたことなどを書いてください。(どんな場面でどんな工夫をしていたのか、自分に生かせることはどんなことか…)
4 今後どのように生活に生かしていきますか。

1 学年 国 語

1 年 組 番 ()

地理 きらめきシート

【アジア州】

1年 組 番 氏名 _____

事前記入 記入日 月 日

1. アジア州の自然環境や歴史・文化、産業について知っていることを書いてみよう。

2. 単元目標

アジア州の「急速な経済成長」について理解し、地域的な課題である「都市・居住問題」に目を向け、関連付けて考える。

3. 自分の目標

4. その目標を達成するために自分はどのように学習していくか書きなさい。

事後記入 記入日 月 日

5. アジア州について学んだことをまとめよう。

6. 自分の設定した目標の達成度や振り返っての反省

7. これからの学習に向けての課題

地理 きらめきシート2

【アジア州】

1年 組 番 氏名 _____

事後記入 記入日 月 日

8. 定期考査の結果を見て、あらためて自分の設定した目標の達成度や振り返っての反省を書こう。

9. 学習を行っていく中で、良かったところを書こう。

10. これからの学習に向けての自己の課題を書こう。

公民 きらめきシート

年 組 番 氏名

授業を終えて次のテーマに関してあなたの考えを書きなさい。ただし、以下の点に注意すること。

- ①授業の内容を踏まえて書くこと。
- ②自分の意見でも、自分と異なる意見でも根拠を明らかにした上で、主権者として今後日本をよりよくするためにはどうしたらよいかについて考えて書くこと。
- ③テーマに関して自ら調べたことはわかりやすく書くこと。

日本は一院制と二院制のどちらが良いか。(月 日)

日本は小さな政府と大きな政府のどちらがよいか。(月 日)

裁判員は必要か。(月 日)

数学科 きらめきシート

3章『1次方程式』を終えて

1年__組__番 名前_____

- ①苦手だなと感じたこと、わからなかったこと、疑問に思ったことなどを具体的に書きなさい。
上記のことがない場合は、理解できたことを具体的に書きなさい。
「わかった」などだけではいけません。「何が」「どのように分かった・わからなかったのか」を書きます。
- ②どのように考えたのか、これまでに習ったことと比較し、どこが違うのかなどを書きなさい。
※具体的な事柄（2次方程式、解、解の公式などの用語）を入れて書きなさい。
※式や図、表、グラフなどを用いながら、学習の要点を整理してみてください。

<ul style="list-style-type: none"> ・等式と不等式 ・方程式 P96 ~ P109	①と②	
	友達のプリントを見て、参考になったこと	自己評価 (A~D)
<ul style="list-style-type: none"> ・1次方程式の利用 ・比例式 P112 ~ P120	①と②	
	友達のプリントを見て、参考になったこと	自己評価 (A~D)

2章 『連立方程式』を終えて

単元のふり返し

<p>苦手だなと感じたこと、わからなかったこと、疑問に思ったことなどを具体的に書きなさい。 上記のことがない場合は、理解できたことを具体的に書きなさい。 「わかった」などだけではいけません。「何が」「どのように分かった・わからなかったのか」を書きます。 ※具体的な事柄（2元一次方程式、解、加減法、代入法などの用語）を入れて書きなさい。</p>	
連立方程式とその解 P42～P44	○苦手克服・理解を深めるために何をします？（具体的な手立て）
連立方程式の解き方 P45～P56	○苦手克服・理解を深めるために何をします？（具体的な手立て）
連立方程式の利用 P57～P65	○苦手克服・理解を深めるために何をします？（具体的な手立て）

授業のふり返し

①発言をする	②挙手をする	③板書をする	④友達に教える
⑤授業の内容を家庭学習やワークなどで復習をする	⑥予習をする		
⑦分からない問題を教科書やノートなどを使って調べる			
⑧分からない問題を先生や友達に質問する	⑨その他（具体的に書く）		

①～⑧から選んで下書きしましょう。

できたこと	できなかったが挑戦したいこと	挑戦するための具体的な手立て

数学科 きらめきシート

3章『2次方程式』を終えて

3年__組__番 名前_____

<p>1～2. 苦手だなと感じたこと、わからなかったこと、疑問に思ったことなどを具体的に書きなさい。</p> <p>上記のことがない場合は、理解できたことを具体的に書きなさい。</p> <p>「わかった」などだけではいけません。「何が」「どのように分かった・わからなかったのか」を書きます。</p> <p>※具体的な事柄（2次方程式、解、解の公式などの用語）を入れて書きなさい。</p> <p>3. 苦手克服・理解を深めるために何をするかを書きなさい。</p>		
2次方程式の解 き方 P76～P90	1. 単元を終えて	
	2. テストを終えて	
	3. 1と2を踏まえて、今後どのようにしていくか書きなさい。	自己評価 (A～C)
	4. 友達のプリントを見て、参考になったこと	
2次方程式の利 用 P91～P99	1. 単元を終えて	
	2. テストを終えて	
	3. 1と2を踏まえて、今後どのようにしていくか書きなさい。	自己評価 (A～C)
	4. 友達のプリントを見て、参考になったこと	



きらめきシート



単元名		自分の目標		
いろいろな気体とその性質				
学習を振り返って分かったことをまとめてみよう！				
①気体の集め方		②実験操作の注意点		
③様々な気体の性質				
分かるために工夫して成果がでたこと		振り返って理解が不十分だと思ったところ		
次の単元で工夫するところ・頑張りたいこと				
自己評価 (A:よくできた B:できた C:努力が必要)				
積極性	自分で調べる (分からない時)	人に聞く (分からない時)	ワークシート	話し合い

年 組 番 名前

第4章 動物の行動のしくみ（振り返り） 2年 組 番

①この単元を終えて、苦手だなと感じたこと、わからなかったことを具体的に書きなさい。
上記のことがない場合は、理解できたことを具体的に書きなさい。「わかった」などだけではいけません。「何が」「どのようにわかった、どのようにわからなかったのか」を書きます。

②自己評価

③感想を書きなさい。

①以下の項目を参考に ア 感覚器官 イ 神経 ウ 反射 エ 運動のしくみ(骨・筋肉)

②自己評価（◎よい、○ふつう、△十分でない、で記入）

ア 授業にすすんで取り組めましたか。

イ 観察実験や作業が手際よくできましたか。

ウ 内容はよくわかりましたか。

エ 授業中に疑問に思ったり、発見したことを書きましょう。

③感想（一番大切だと思ったこと、わかりずらかったところ、よくわかったこと。等）

授業の振り返り

- ①発言をする ②挙手をする ③板書する ④友達と教えあったり相談をする
⑤予習をする ⑥授業内容を家庭学習やワーク等で復習をする
⑦わからない問題を先生や友人に質問する
⑧わからない問題を教科書やノートなどを使って調べる ⑨その他（具体的に書く）

①～⑧から選んで書きましょう。⑨の場合具体的に書く理科 きらめきシート評価（ルーブリック）

できたこと	できなかったが挑戦したいこと	挑戦するための具体的な手立て

3章「仕事とエネルギー」について (きらめきシート)

3年 組 番 名前 _____

○授業を受ける前に

I 単元「仕事とエネルギー」の自分のイメージ（気持ち・印象など）を書いてみよう。

II 「仕事とエネルギー」を学習する際に、特に頑張ろうと思う部分はどれですか。
(複数回答可)

- ア 用語の知識・理解を理解する
- イ 学習したことを使って説明できたり、問題を解けるようにする
- ウ 計算問題が解けるようにする
- エ 実験をうまくできるようにする
- オ その他 (_____)

~~~~~

#### ○授業を受けた後に

I わからなかったところや疑問に思ったところはどこですか。(複数回答可)

- ア 理科でいう「仕事」      イ 仕事と力の関係      ウ 仕事率      エ 仕事の計算
- オ 仕事率の計算      カ エネルギー      キ 仕事とエネルギー      ク 位置エネルギー
- ケ 運動エネルギー      コ 力学的エネルギー      サ 力学的エネルギーの保存

II Iであげた中で、特にわからなかったところや疑問に思ったところを具体的に書きましょう。

(例)「○○の△△△というところを疑問に思った。」

「○○の△△△というところがわからなかった。」 など

|  |
|--|
|  |
|--|

III IIであげたものの中で、わかるような工夫や努力をしたこと、あるいはこれからすることを書きましょう。

|  |
|--|
|  |
|--|

年 組 番 氏名

---

|             | 本題材の学習や振り返り                                             | 良かった点やできなかった点、次回への見通しなど |
|-------------|---------------------------------------------------------|-------------------------|
| 第<br>1<br>時 | 箏の音色や奏法に興味をもち、音色や響きと楽器の構造や奏法との関わりを知ることができましたか。          |                         |
| 第<br>2<br>時 | 演奏に必要な奏法を生かして箏の音色や響きと奏法との関わりについて理解することができましたか。          |                         |
| 第<br>3<br>時 | 箏の音色や奏法を生かして「さくらさくら」の一部の表現を工夫することができましたか。               |                         |
| 第<br>4<br>時 | 箏の音色や響きと奏法に関心を持ち、演奏に必要な技法を身に付けて演奏する活動に進んで取り組むことができましたか。 |                         |



| 自己評価<br>十分に取組めた 5・4・3・2・1 取組めなかった                    |   | 振り返り<br>(「何が」「どのように」できるようになったか<br>具体的に書こう) |
|------------------------------------------------------|---|--------------------------------------------|
| 漢字や熟語のイメージから色彩を考え、アクリル絵の具の特性をいかし筆の使い方などを工夫することができたか。 | 5 | ① 絵の具の扱いや着彩について難しかった点やできるようになった点           |
|                                                      | 4 |                                            |
|                                                      | 3 |                                            |
|                                                      | 2 |                                            |
|                                                      | 1 |                                            |
| 漢字の意味や形をもとに、「絵文字」として“わかりやすい”デザインを考えることができたか。         | 5 | ② 形や色彩について工夫した点(「何を」「どのように」工夫したか)          |
|                                                      | 4 |                                            |
|                                                      | 3 |                                            |
|                                                      | 2 |                                            |
|                                                      | 1 |                                            |
| 美しさなどを考えて文字をデザインすることに関心をもち、最後まであきらめずに取り組むことができたか。    | 5 | ③ 制作する上で苦勞した点や上手くできた点                      |
|                                                      | 4 |                                            |
|                                                      | 3 |                                            |
|                                                      | 2 |                                            |
|                                                      | 1 |                                            |
| 完成の喜びを味わうとともに、仲間の作品を見てその良さや美しさ、表現の工夫などに気づくことができたか。   | 5 | ④ 友達の作品について工夫されている点や良いと思った点                |
|                                                      | 4 |                                            |
|                                                      | 3 |                                            |
|                                                      | 2 |                                            |
|                                                      | 1 |                                            |

【題材の振り返り】

\* 本題材を振り返り、次の作品制作に生かそう!

⑤【制作全体を通して】

制作過程で生じた課題を解決するために、どのような工夫・改善をしながら取り組んだか。

⑥【今後に向けて】

①～⑤で書いたことを踏まえ、今後の作品制作における取組目標を書こう。

# きらめきシート バasketボール

## 特性

- ①手でボールを扱い、パスやドリブルを使って一定時間内に相手バスケットにシュートして得点を競うゴール型の球技。
- ②冬季に室内でおこなうスポーツとして 1891 年アメリカ国際 YMCA の体育教師ネイスミスが考案した。
- ③1908 年に大森兵蔵が初めて日本に紹介し、1913 年に来日した F.H.ブラウンの指導で広く普及した。

## チェックポイント

- ①シュート、パス、ドリブル等の基本的な技能の習得に積極的に取り組んでいる。
- ②チームで協力して、空間に走りこむ動きや空間を使った攻防を意識して取り組んでいる。
- ③ボールや道具の管理、準備体操や相手への接触等、安全に配慮しながら授業に臨んでいる。

- ①授業で取り組んだことや自身のできたこと、感想を書きましょう。

| 日付と曜日 | 意識して<br>取り組んだこと | コメント |
|-------|-----------------|------|
|       |                 |      |

- ②現在の自分のバスケットボールの能力をさらに伸ばすために、どのような課題があるでしょうか。

| 日付と曜日 | 自己評価 (A~<br>C) | コメント |
|-------|----------------|------|
|       |                |      |

- ③本時の学習で、特に頑張った人や参考になった人 (MVP) は誰かいますか。その理由も書きましょう。

| 日付と曜日 | MVP | コメント |
|-------|-----|------|
|       |     |      |

年 組 番 氏名



～きらめきシート～

# サッカー

教科書 P.146～



## ゴール型

年 組 番 氏名

---

■ ボールを運ぶドリブル



■ キックの種類 (ボールを当てる部分にも注目!!)



■ トラッピング



■ ヘディングとスローイン



|                               |                                          |                 |
|-------------------------------|------------------------------------------|-----------------|
| 第1回目                          | 今日のねらい → 空いている空間を意識して、相手を動かそう！（ミニゲーム）    |                 |
| 月 日                           | 空いている空間を作ったり、空いている空間を作らないようにすることができましたか。 | ○      △      × |
| 今日のねらいを達成するために、どんなことを工夫しましたか。 | 難しかったことは何ですか。                            | 今回の課題と次回の目標     |
|                               |                                          | 【今回の課題】         |
|                               |                                          |                 |
|                               |                                          | 【次回の目標】         |
|                               |                                          |                 |
|                               |                                          |                 |



|                        |                                 |                 |
|------------------------|---------------------------------|-----------------|
| 第2回目                   | 今日のねらい → 今の自分の技能を知ろう！           |                 |
| 月 日                    | 今の自分の力を知ることができましたか。             | ○      △      × |
| 今日知った・確認した自分の力を書いてみよう！ | 取り組みの中で、どのようなことを工夫してみましたか。      | 今回の課題と次回の目標     |
|                        |                                 | 【今回の課題】         |
|                        |                                 |                 |
|                        |                                 | 【次回の目標】         |
|                        |                                 |                 |
| 上手な人、取り組み方が良かった人       | そう思った理由（上手な人、授業の取り組み方や準備・片付けなど） |                 |
| さん                     |                                 |                 |

|                           |                                 |             |   |   |
|---------------------------|---------------------------------|-------------|---|---|
| <b>第3回目</b>               | <b>今日のねらい → 正確なパスを出そう！</b>      |             |   |   |
| 月 日                       | 狙った相手にパスを出すことができましたか。           | ○           | △ | × |
| 課題を解決するために、どんなことを工夫しましたか。 | 工夫をしてみて、気付いたポイントやコツなど           | 今回の課題と次回の目標 |   |   |
|                           |                                 | 【今回の課題】     |   |   |
|                           |                                 | 【次回の目標】     |   |   |
| 上手な人、取り組み方が良かった人          | そう思った理由（上手な人、授業の取り組み方や準備・片付けなど） |             |   |   |
| さん                        |                                 |             |   |   |

|                           |                                        |             |   |   |
|---------------------------|----------------------------------------|-------------|---|---|
| <b>第4回目</b>               | <b>今日のねらい → ドリブル・パスをして仲間とボールを繋げよう！</b> |             |   |   |
| 月 日                       | ドリブル・パスを使い、仲間とボールを繋げることができましたか？        | ○           | △ | × |
| 課題を解決するために、どんなことを工夫しましたか。 | 工夫をしてみて、気付いたポイントやコツなど                  | 今回の課題と次回の目標 |   |   |
|                           |                                        | 【今回の課題】     |   |   |
|                           |                                        | 【次回の目標】     |   |   |
| 上手な人、取り組み方が良かった人          | そう思った理由（上手な人、授業の取り組み方や準備・片付けなど）        |             |   |   |
| さん                        |                                        |             |   |   |

|                           |                                  |             |   |   |
|---------------------------|----------------------------------|-------------|---|---|
| 第5回目                      | 今日のねらい → ボールをコントロールしよう！          |             |   |   |
| 月 日                       | ボールを奪われずに、ボールをコントロールすることができましたか？ | ○           | △ | × |
| 課題を解決するために、どんなことを工夫しましたか。 | 工夫をしてみて、気付いたポイントやコツなど            | 今回の課題と次回の目標 |   |   |
|                           |                                  | 【今回の課題】     |   |   |
|                           |                                  | 【次回の目標】     |   |   |
|                           |                                  |             |   |   |
|                           |                                  |             |   |   |
| 上手な人、取り組み方が良かった人          | そう思った理由（上手な人、授業の取り組み方や準備・片付けなど）  |             |   |   |
|                           |                                  |             |   |   |
| さん                        |                                  |             |   |   |

|                          |                                 |             |   |   |
|--------------------------|---------------------------------|-------------|---|---|
| 第6回目                     | 今日のねらい → ミニゲームをしてみよう！①          |             |   |   |
| 月 日                      | 自分が出したいところにボールを出すことができましたか？     | ○           | △ | × |
| ゲームをするときに難しいと感じたことは何ですか。 | 課題を改善するために、どのようなことを工夫しましたか。     | 今回の課題と次回の目標 |   |   |
|                          |                                 | 【今回の課題】     |   |   |
|                          |                                 | 【次回の目標】     |   |   |
|                          |                                 |             |   |   |
|                          |                                 |             |   |   |
| 上手な人、取り組み方が良かった人         | そう思った理由（上手な人、授業の取り組み方や準備・片付けなど） |             |   |   |
|                          |                                 |             |   |   |
| さん                       |                                 |             |   |   |

|                            |                                 |             |   |   |
|----------------------------|---------------------------------|-------------|---|---|
| <b>第7回目</b>                | <b>今日のねらい → ミニゲームをしてみよう！②</b>   |             |   |   |
| 月 日                        | 自分が出したいところにボールを出すことができましたか？     | ○           | △ | × |
| 前回設定した今日の目標を達成することはできましたか。 | パスが繋がりやすくなるために、どんなことを工夫しましたか。   | 今回の課題と次回の目標 |   |   |
|                            |                                 | 【今回の課題】     |   |   |
|                            |                                 |             |   |   |
|                            |                                 | 【次回の目標】     |   |   |
|                            |                                 |             |   |   |
| 上手な人、取り組み方が良かった人           | そう思った理由（上手な人、授業の取り組み方や準備・片付けなど） |             |   |   |
|                            |                                 |             |   |   |
| さん                         |                                 |             |   |   |

|                            |                                 |             |   |   |
|----------------------------|---------------------------------|-------------|---|---|
| <b>第8回目</b>                | <b>今日のねらい → ミニゲームをしてみよう！③</b>   |             |   |   |
| 月 日                        | サッカーを楽しむことができましたか？              | ○           | △ | × |
| 前回設定した今日の目標を達成することはできましたか。 | パスが繋がりやすくなるために、どんなことを工夫しましたか。   | 今回の課題と次回の目標 |   |   |
|                            |                                 | 【今回の課題】     |   |   |
|                            |                                 |             |   |   |
|                            |                                 | 【次年度の目標】    |   |   |
|                            |                                 |             |   |   |
| 上手な人、取り組み方が良かった人           | そう思った理由（上手な人、授業の取り組み方や準備・片付けなど） |             |   |   |
|                            |                                 |             |   |   |
| さん                         |                                 |             |   |   |

## ～サッカーのまとめ～

★パスなどの個人技能や、空いている空間を作ったり、作らないようにしたりなど、今までの自分の課題を書き出してみよう！（箇条書きでもOK）

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |

★それらの課題を解決するために、どのように工夫して取り組みましたか。また、それをしたことでどのように変わったのか書きましょう。変わらなかった場合は、なぜ変わらなかったのか予想を書いてみよう！

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

★最初のとくと比べて、できるようになったことを書きましょう！（箇条書きOK）  
技能のことや、動き方など。

|  |
|--|
|  |
|  |
|  |
|  |

お疲れ様でした～！



技術科      きらめきシート

\_\_\_\_年    組    番    氏名

---

| 日付 | 本時の目標 | 本時の成果 |
|----|-------|-------|
|    |       |       |

※この「きらめきシート」は皆さんの「学びに向かう人間力など」を伸ばすためのものです。  
このシートを活用し、粘り強く工夫して自分の力を伸ばしてください。

eflection Sheet (きらめきシート)      Class.   No.   Name. \_\_\_\_\_

Unit6 Part1 の目標：自分と相手以外の人やものなどについて、伝えることができる。

1. Unit6 Part1 の Key Sentence (キーセンテンス) を書きなさい。また理解度を (A・B・C) で選びなさい。

|                                  |         |
|----------------------------------|---------|
| Part1 教科書 p.59<br>Key sentence25 | (A・B・C) |
|----------------------------------|---------|

※次の2～4は具体的に「何が・何を」「どのように」「何を」などが伝わるように書きなさい。

※必要に応じて英単語や英文を使って、相手に伝わりやすいように書くこと。

|                                                                                                           |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2. 教科書やエイゴラボを参考にして1の Key Sentence の使い方を書きなさい、また使う時に間違えやすい点や気をつけるべきことを書きなさい。※説明のときに「 <u>人称</u> 」という言葉を使うこと |
| 3. これまで Unit6 の学習で新たに学んだことや理解が深まったこと、もしくはわからなかったことや疑問に思ったことを書きなさい。 ※文法以外でも教科書の本文でのことを書いてもかまいません。          |
| 4. 2～3で自身が書いたことを踏まえ、今後どのような学習の取り組みをしていくかを具体的に書きなさい。                                                       |

出日 \_\_\_\_\_

Class \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_

Name \_\_\_\_\_

## モチベーションシート(きらめきシート) Unit5-1

| 自己成長力を高めるためにも以下について具体的に書こう！ |                            |              |
|-----------------------------|----------------------------|--------------|
| 目標                          | ① ターゲット文法                  | 習得度<br>A・B・C |
|                             | ② ①を使う際のルール、注意点            |              |
|                             | ③ 間違いやすい点と課題とそれを解決するための工夫等 |              |

### 振り返り

|                      |
|----------------------|
| 今回のパート (Unit5-1) の課題 |
|                      |
| 問題解決のための具体的な手立て      |
|                      |
| 友達のアドバイス、取り込みたいこと    |
|                      |

Class: \_\_\_\_\_ No: \_\_\_\_\_ Name: \_\_\_\_\_

第3学年 英語 Unit3 The sparkle worksheet ～きらめきシート～

**【1】 Things I learned** Unit3 で新しく学んだ『文法』のルールを、例文を示して具体的に書こう。

.....

.....

.....

**【2】 Things I need to improve**

①Unit3 を終え、自分が分からなかった『文法』や『英語表現』を書き、その理由を書こう。

.....

.....

②①の内容を受けて、自分の英語力を向上させるためにどうするか、日々の取り組みを具体的に書こう。

.....

.....

**【3】** (Unit 4 を終えてから記入) **【2】** で記入したことが実現できましたか。自分を評価しよう。

評価    A    ·    B    ·    C    ←○をつける

理由

.....

.....

教員記入欄 **【1】** A・B・C    **【2】** A・B・C    **【3】** A・B・C    **【総合評価】** A・B・C

## (4) きらめきシートのルーブリック 各教科

※ 数学、美術、英語は校内研修会で検討したので評価の根拠を載せました。他の教科は検討していないので評価の根拠を載せていません。

きらめきシートのルーブリック (ひな形①)

|     |  |     |  |
|-----|--|-----|--|
| 教科名 |  | 単元名 |  |
|-----|--|-----|--|

| 評価基準 |          | 評価の根拠 |
|------|----------|-------|
| A    | 十分に満足できる |       |
| B    | おおむね満足   |       |
| C    | 努力を要する   |       |

| きらめきシート生徒の記述 A評価 | きらめきシート生徒の記述 B評価 |
|------------------|------------------|
|                  |                  |

きらめきシートのルーブリック（ひな形②）

|     |  |     |  |
|-----|--|-----|--|
| 教科名 |  | 単元名 |  |
|-----|--|-----|--|

| 評価基準 |          | 評価の根拠 |
|------|----------|-------|
| A    | 十分に満足できる |       |
| B    | おおむね満足   |       |
| C    | 努力を要する   |       |

| きらめきシート生徒の記述 A評価 | きらめきシート生徒の記述 B評価 |
|------------------|------------------|
|                  |                  |
| A評価の理由           | B評価の理由           |
|                  |                  |

きらめきシートのループリックの例

|     |    |     |            |
|-----|----|-----|------------|
| 教科名 | 国語 | 単元名 | 「聞き上手になろう」 |
|-----|----|-----|------------|

| 評価基準 |          | 評価の根拠                                  |
|------|----------|----------------------------------------|
| A    | 十分に満足できる | 既習事項を活用しながら、気付いたこと考えたことを書いて自分事としている。   |
| B    | おおむね満足   | 既習事項（相づちや質問の仕方）の効果を押さえ、意図的に活用し、記述している。 |
| C    | 努力を要する   | できなかったことを振り返ることで、既習事項の効果を理解している。       |

きらめきシート生徒の記述 A評価

2よりよく聞くために、どのような工夫や心がけをしましたか？具体的に書いてください。  
 (どんな場面で、どんな風に、どのくらい、どんなことを意図して、やってみての感想…)

僕は話すことが好きなので、相づちや他の言葉に言い変えることをしました。もう一つ簡単に話を続けることができました。相づちは言葉を発さなくてもできるのでとても簡単でした。質問では広げる質問のほうが話がはずんだ。絞る質問は自分が受ける側なら簡単に返せた。質問の順番が大切で、くり返して聞いて相手がもっと話したくなるようにできた。

3友達の間き方を見ていて、分かったこと、気づいたことなどを書いてください。  
 (どんな場面でどんな工夫をしていたのか、自分に生かせることはどんなことか…)

利手まで質問などのトークをしたとき広げる質問のオープンクエスチョンを質問側の人から僕にしてもらいました。でも自分が自由に答えるため考える時間ができてしまいました。そこでその人は絞る質問のクローズドクエスチョンに変えてくれて答えやすくしてくれました。あと相手のトークテーマに乗って話を聞いて、相手と会話がはずんでいた。きき方の工夫のくり返しや引用することでできるようになることが分かった。

きらめきシート生徒の記述 B評価

2よりよく聞くために、どのような工夫や心がけをしましたか？具体的に書いてください。  
 (どんな場面で、どんな風に、どのくらい、どんなことを意図して、やってみての感想…)

他の言葉で言い換えたり、広げる質問をするようにしました。しかし質問だけでなく、うなずいたりしてなるべく相手の話を最後まで聞くことを心がけました。また「絞る質問」→「広げる質問」の順番を意識して質問をしました。

3友達の間き方を見ていて、分かったこと、気づいたことなどを書いてください。  
 (どんな場面でどんな工夫をしていたのか、自分に生かせることはどんなことか…)

「わかる」「それな」と共感している時、会話がとて盛り上がりだしていたので相手との共通点を見つけそれを言葉にする話をしている方が安心できると気づきました。そして、目を見て話を聞いてちゃんと聞いてくれると実感できました。

きらめきシートのループリックの例

|     |    |     |              |
|-----|----|-----|--------------|
| 教科名 | 社会 | 単元名 | 私たちの暮らしと民主政治 |
|-----|----|-----|--------------|

| 評価基準 |          | 評価の根拠                                               |
|------|----------|-----------------------------------------------------|
| A    | 十分に満足できる | 未来の主権者として既習事項に加えて自らが調べたことを基に日本の政治に関する問題について考えられている。 |
| B    | おおむね満足   | 既習事項を根拠に未来の主権者として日本の政治に関する問題について考えられている。            |
| C    | 努力を要する   | 日本の政治問題について根拠なく論じている。                               |

きらめきシート生徒の記述 A評価

裁判員裁判は必要か。(10月23日)

必要だと思う  
理由・司法試験を受けなくても裁判に関われることは良い機会だし、直接関わり、聞いても私たちの国を動かしている三権分立の一つの司法権に関わる。だから裁判については知ってみたい方がいと思う

(⑧) R2年では232,800人が裁判員候補者名簿にのっているがそのうちの調査票回答者数は93,227人(40%)しかない。また、候補者のなかで定期型辞退事由(1年間を通して辞退する希望のある事内)申出者数は51,990(21.5%)もいた。2021年5月に裁判員制度が替わったから12年がたつ。もしも裁判員経験者が10万人を超えた。しかし裁判員候補者の辞退率は上昇傾向にある。一方で裁判員経験者のアンケートでは95%以上が「この経験は役に立った」と回答している。だから私は経験者が自分の経験したことを周りの人に伝えていくことが大切だと思う。また、裁判所や裁判員裁判に参加するようSNSやポスターで呼びかけなどをやることも大切だと思う。

きらめきシート生徒の記述 B評価

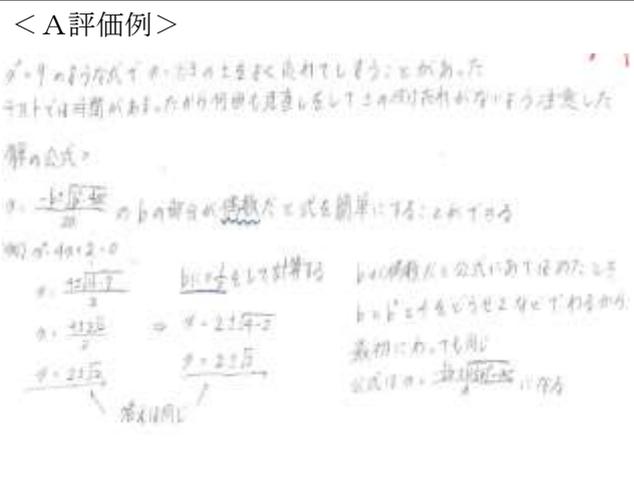
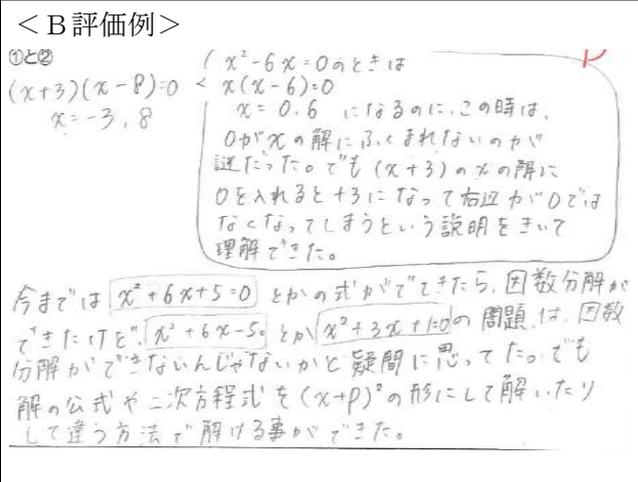
裁判員裁判は必要か。( 月 日)

裁判員裁判は必要じゃないと思う。まず私は、国民(一般人)がそんな有罪かどうか、罪の重さを判断するほど大切なことをしていいのかわからない。確かにメリットとして国民の意見が反映されるのはいいと思うが、デメリットの方が多いと思う。精神的な負担もある。司法権などにも関係してくる。別にここまでは裁判員裁判をする必要はないと思う。

きらめきシートのルーブリックの例

|     |    |     |       |
|-----|----|-----|-------|
| 教科名 | 数学 | 単元名 | 2次方程式 |
|-----|----|-----|-------|

| 評価基準 |          | 評価の根拠                                                                                          |
|------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A    | 十分に満足できる | 既習事項を使って自分の考えをまとめられている。<br>さらに、これまでに習ったことと比較し、どこが違うのかなどの記述がある、もしくは、自分なりのアイデアや考えを使って書くことができている。 |
| B    | おおむね満足   | 既習事項を使って自分の考えをまとめられている。                                                                        |
| C    | 努力を要する   | 既習事項を使わず、自分の考えをまとめられていない。                                                                      |

| きらめきシート生徒の記述                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>&lt; A評価例 &gt;</p>                                                                                          | <p>&lt; B評価例 &gt;</p>                                                                                       |
| A評価の理由                                                                                                                                                                                           | B評価の理由                                                                                                                                                                                         |
| <p>&lt; A評価例 1 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>解の公式を正しく使って自分なりの考えをまとめられている。さらに、解の公式は分母が必ず偶数になるため、bが偶数の場合、約分可能で式を簡略できるところに着目できている。自分なりのアイデアや考えを使って書くことができているため、A評価となる。</li> </ul> | <p>&lt; B評価例 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(x+A)(x+b)=0 と x(x+A)=0 を比較しており、既習事項を正しく使って自分の考えをまとめられている。</li> <li>既習事項を正しく理解しており、問題の条件によって因数分解や解の公式、平方完成を扱う記述がされている。</li> </ul> |

きらめきシートのルーブリックの例

|     |    |     |       |
|-----|----|-----|-------|
| 教科名 | 数学 | 単元名 | 2次方程式 |
|-----|----|-----|-------|

| 評価基準 |          | 評価の根拠                                                                                          |
|------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A    | 十分に満足できる | 既習事項を使って自分の考えをまとめられている。<br>さらに、これまでに習ったことと比較し、どこが違うのかなどの記述がある、もしくは、自分なりのアイデアや考えを使って書くことができている。 |
| B    | おおむね満足   | 既習事項を使って自分の考えをまとめられている。                                                                        |
| C    | 努力を要する   | 既習事項を使わず、自分の考えをまとめられていない。                                                                      |

きらめきシート生徒の記述

< A評価例 1 >

$x^2 = 9$  のような式で  $x = \pm 3$  の土をよく忘れてしまうことがあった  
テストでは時間があまったから何回も見直しをして土の付け忘れがないよう注意した

解の公式 >

$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$  の  $b$  の部分が 偶数 だと式を簡単にすることができる

例)  $x^2 - 4x + 2 = 0$   
 $x = \frac{4 \pm \sqrt{16 - 8}}{2}$   
 $x = \frac{4 \pm 2\sqrt{2}}{2} \Rightarrow x = 2 \pm \sqrt{4 - 2}$   
 $x = 2 \pm \sqrt{2}$   
 答えは同じ

$b$  に  $x \frac{1}{2}$  をして計算する  $b$  が偶数だと公式にあてはめたとき  $b \times b^2$  と  $a$  をどうせ  $2$  などでわるか最初にかわしても同じ  
公式は  $x = \frac{-2b \pm \sqrt{(2b)^2 - 4ac}}{2}$  になる

< A評価例 2 >

① 解の公式を解くのが苦手です。  $\rightarrow \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$  の式の  $x$  のコイと  $-4ac$  のコイと  $a$  は忘れないで。 また、解の公式を解いた後の前分を忘れることが多い。

② 1次方程式とのちがい(式1の  $x + 2x$  だけである(  $x^2$  が入る。(  $x \times x$  )

1次方程式との違いの3つあり  
 ・1次方程式は右は文字右は数字  
 ・2次方程式は数字をすべて右辺に移動させて、因数分解をして0になる数字を求めた。

式1:  $x + 2 = 2x - 1$  1次方程式  
 式2:  $x^2 + 2 = 2x - 2$  2次方程式

$x - 2x = -2 - 1$   
 $-x = -3$   
 $x = 3$

$x^2 - 2x + 4 = 0$   
 $(x - 2)^2 = 0$   
 $x = 2$

< B評価例 >

①と②

$$(x+3)(x-8)=0$$

$$x=-3, 8$$

( $x^2-6x=0$ のときは  
 $x(x-6)=0$   
 $x=0, 6$  になるのに、この時は、  
 $0$ が $x$ の解にふくまれないのかわ  
 迷った。たまたま $(x+3)$ の $x$ の解に  
 $0$ を入れると $+3$ になって右辺が $0$ では  
 ならない、という説明をきいて  
 理解できた。

今までには  $x^2+6x+5=0$  とかの式がでてきたら、因数分解が  
 できたけれど、 $x^2+6x-5=0$  とか  $x^2+3x+1=0$  の問題は、因数  
 分解ができないんじゃないかと疑問に思ってた。でも  
 解の公式や二次方程式を  $(x+p)^2$  の形にして解いたリ  
 して違う方法で解ける事がわかった。

A評価の理由

< A評価例 1 >

- 解の公式を正しく使って自分なりの考えをまとめられている。さらに、解の公式は分母が必ず偶数になるため、bが偶数の場合、約分可能で式を簡略できる場所に着目できている。自分なりのアイデアや考えを使って書くことができているため、A評価となる。

< A評価例 2 >

- 解の公式を解く上での留意点が記述されており、自己分析できている。
- 既習事項を使って自分なりの考えをまとめられている。
- これまでに習った1次方程式と比較し、その違いが記述されている。

B評価の理由

< B評価例 >

- $(x+a)(x+b)=0$  と  $x(x+a)=0$  を比較しており、既習事項を正しく使って自分の考えをまとめられている。
- 既習事項を正しく理解しており、問題の条件によって因数分解や解の公式、平方完成を扱う記述がされている。

|     |    |     |       |
|-----|----|-----|-------|
| 教科名 | 数学 | 単元名 | 1次方程式 |
|-----|----|-----|-------|

| 評価基準 |          | 評価の根拠                                                                                          |
|------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A    | 十分に満足できる | 既習事項を使って自分の考えをまとめられている。<br>さらに、これまでに習ったことと比較し、どこが違うのかなどの記述がある、もしくは、自分なりのアイデアや考えを使って書くことができている。 |
| B    | おおむね満足   | 既習事項を使って自分の考えをまとめられている。                                                                        |
| C    | 努力を要する   | 既習事項を使わず、自分の考えをまとめられていない。                                                                      |

きらめきシート生徒の記述

< A評価例1 >

①と②  
①数の大小関係を等号や不等号を用いて表したように、文字式で表された2つの数量の関係も等号、不等号を使って表すことができた。  
 $9 < 10 \quad \frac{3}{6} = \frac{1}{2} \Rightarrow 2x + y = 1500 \quad 8x - y < 800$   
 係数に小数を含む方程式では両辺に10、100などをかけて係数を整数に直してから解くと計算が楽になる  
 $2.3x = 0.5x + 4$  ゴキ、ゴキ...計算はく...  
 $23x - 5x = 40 \quad 18x = 40 \quad x = \frac{40}{18}$   
 $23x - 5x = 40 \quad 18x = 40 \quad x = 5$  ゴキ、ゴキ...計算はく...

②移項を使って計算式を解くのが小学生の時とは違ってきた。  
 ④  $\square - 6 = 9 \rightarrow \square = 6 + 9 \quad \square = 15 \quad \checkmark$   
 $8x - 9 = 6x + 7 \quad 2x = 16 \quad x = 8$

< A評価例2 >

①と②  
①分数をつかった方程式は分数が2つ以上ある場合は分母をはらって計算することが苦手だった  
 ②これまでと比較し、分数があるときの計算は、分母をはらわずに、通分して計算するのに対し、分数をつかった方程式は分母を先にはらって計算するところが違っていた。

$\frac{5}{6}x - 2 = \frac{1}{3}x$   
 $\downarrow$ 係数を整数に通す  
 $5x - 12 = 2x$   
 $\downarrow$ 文字の項を右辺に  
 $5x - 12 = 2x$   
 $\downarrow$ 数字の項を左辺に移す  
 $3x = 12$   
 $\downarrow$ 両辺をxの計算でわる  
 $x = 4$

< B評価例 1 >

① 方程式

② 問題 Aさん…家から1km離れた馬足に向けて歩く。  
 Bさん…Aさんが出発してから9分後に、自転車で追いかける。  
 Aさん：分速60m Bさん分速240m  
 Bさんは出発してから何分後にAさんに追いつく？

手順 (1) 図に表す

(2) 表に表す

|     | A         | B      |
|-----|-----------|--------|
| 速さ  | 60        | 240    |
| 時間  | $x+9$     | $x$    |
| 道のり | $60(x+9)$ | $240x$ |

(3) 方程式もつくる

$$60(x+9) = 240x$$

$$60x + 540 = 240x$$

$$60x - 240x = -540$$

$$-180x = -540$$

$$x = 3$$

わかんない部分Bにxにする! ←ここは=の関係になる

妹が進んだ道のり  
兄が進んだ道のり ← 等しい!!

< B評価例 2 >

①と② 代入を省略式があるでなくして手紙のxとyがある式に代入して、たいてい簡単になる。

$$2x - 3 = 7 \rightarrow 2x - 3 = 7 \text{ だと}$$

対して2xがわからないから、  
 $\square - 3 = 7$  として、 $\square + 3 = 10$   
 $\square = 10$  だとわかる。  
 $2x = 10$  だとから、 $10 \div 2 = 5$   $x = 5$  だとわかる。

(方程式) ⇒ 今までの口と書いていたものをxと置きかえては、言計算方法はそのままかか  
 が、xがxで済んだため、xをもっと減らす、たとえば11や12、511や1111から減らす(または増やす)

例①  $x + 6 = -2$

式①  $3 - 2 = 5$   
 $\begin{array}{r} 3 \\ + \\ 2 \\ \hline 5 \end{array}$

式②  $3 - 2 = 5$   
 $\begin{array}{r} 3 \\ - \\ 2 \\ \hline 5 \end{array}$

① かわかんない式にあきかえてみる(式①)  
 ② かつするのと変なすのために、1と1をいれかかす。  
 ③ かわかんない式にあきかえてみる。  
 ④  $-2 - 6 = -8$  となり、 $x - 6 = -8$  となる。(例)

A評価の理由

< A評価例 1 >

- 等式と不等式、方程式の解法を正しく理解し、自分なりの考えをまとめられている。さらに、小学校で学んだ、「文字ではなく□を使った問題」と中学校で学ぶ「1次方程式」を比較し、小学校での解き方と中学校での移行を使った解き方の違いを分析しているのでA評価となる。

< A評価例 2 >

- 分数が含まれた方程式小学校で学習した分数の通分と、方程式の両辺に同じ数をかけて分母をはらう方法を比較しているのでA評価となる。
- 方程式の解法が丁寧に順をおって説明できている。

B評価の理由

< B評価例 1 >

- 既習事項を正しく理解しており、問題を解くために図や表を利用しており、その図・表をどう立式につなげていくか記述されている。

< B評価例 2 >

- 方程式の解法を理解し、正しくまとめている。
- 方程式の解法がわからなくなってしまうときに、簡単な数に置き換えて帰納的に解法を導き出している。

きらめきシートのルーブリックの例

|     |    |     |          |
|-----|----|-----|----------|
| 教科名 | 理科 | 単元名 | 運動とエネルギー |
|-----|----|-----|----------|

| 評価基準 |          | 評価の根拠                                                                            |
|------|----------|----------------------------------------------------------------------------------|
| A    | 十分に満足できる | 単元（授業）で学習したことを、理解できているかどうか自分で判断し考えをまとめられている。もしくは、理解できなかったところを工夫して理解できたことを記述している。 |
| B    | おおむね満足   | 単元（授業）で学習したことを、理解できているかどうか自分で判断できている。                                            |
| C    | 努力を要する   | 単元（授業）で学習したことを、理解できているかどうか自分で判断できない。                                             |

きらめきシート生徒の記述 A評価

生徒1

仕事率の意味が理解できなかった。  
 仕事率の計算で速さの単位を変えたり、kmとmに直したつづきの単位が苦手でたくさんまちがえた。  
 仕事の計算がややこしくておまじり分からはかった。

計算は式や、イメージを覚えるまでくり返し同じ問題を解いた。  
 仕事の計算は「力の大きさと動いた距離」、「重さにから、てある仕事」、「摩擦にから、てある仕事」などたくさん種類があるけど、式はどれも  $J = N \times m$  ということに気がつき頭の整理がしやすくなった。

きらめきシート生徒の記述 B評価

速さを使う場合と加速度を使う場合の違いがよく分かった。  
 ショットコースターなどの時の位置エネルギーと運動エネルギーの関係？変化のし方？おもしろい感じがよく分かった。

教科書を見ながら、問題を解いて自分が苦手なところを見つけてそこを重点的に勉強して何も見ないで解けるようになる。

きらめきシートのループリックの例

|     |    |     |                 |
|-----|----|-----|-----------------|
| 教科名 | 音楽 | 単元名 | グループアンサンブルを楽しもう |
|-----|----|-----|-----------------|

| 評価基準 |          | 評価の根拠                                           |
|------|----------|-------------------------------------------------|
| A    | 十分に満足できる | 音楽の構造を理解し、他のパートのリズムを知覚し、協力してグループアンサンブルを演奏できている。 |
| B    | おおむね満足   | 音楽の構造を理解し、協力してグループアンサンブルを演奏できている。               |
| C    | 努力を要する   | 友人の叩くリズムを真似て、グループアンサンブルを演奏することができる。             |

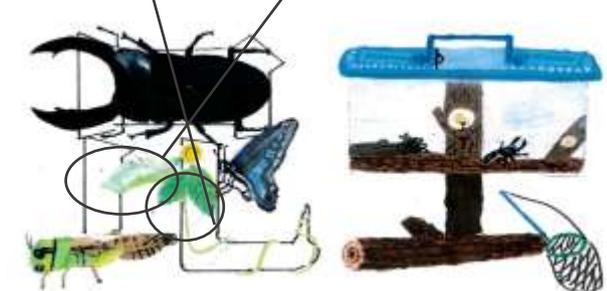
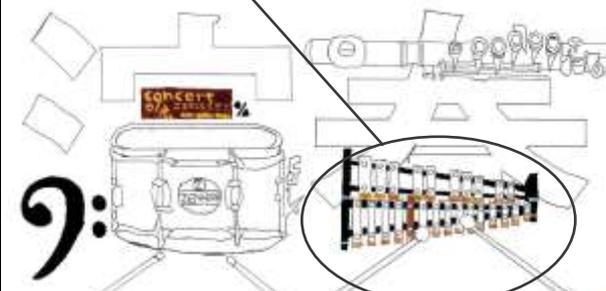
| きらめきシート生徒の記述 A評価                                                                      | きらめきシート生徒の記述 B評価                                                              |
|---------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| <p>良かった点は、同じリズムをただくときに、グループと名前を覚えて、すまなかつた。</p> <p>次回は、ほかの班のリズムを聞きながら、自分のパートをやる</p>    | <p>グループで「おとまり」音と合わせてやることか、出来た。でもおとまりあんまりやると少しすれたりした所があったので、そこを早く練習したいと思う。</p> |
| <p>グループ内できれいに合わせることができて良かった。次回はおとまりを練習を重ねたい。特に、「スーパ」の所は私のパートと「ササ」のパートでミスしたいようにする。</p> | <p>ズれてしまった所はあつたか、休符を意識して演奏することかてきた。次回は強弱を意識して演奏したい。</p>                       |

きらめきシートのループリックの例

|     |     |     |          |
|-----|-----|-----|----------|
| 教科名 | 美術科 | 単元名 | 絵文字のデザイン |
|-----|-----|-----|----------|

| 評価基準 |          | 評価の根拠                                                                      |
|------|----------|----------------------------------------------------------------------------|
| A    | 十分に満足できる | これまでに学習したこと（身に付けた知識や技術）を基に、試行錯誤を重ねながらできるようになったことや、よりよい表現を目指した改善点などが書かれている。 |
| B    | おおむね満足   | できるようになったことや改善点などが書かれている。                                                  |
| C    | 努力を要する   | 個別の対応や一緒に考える等のサポートをすることで、できるようになったことや改善点などを書くことができる。                       |

きらめきシート生徒の記述 A評価      きらめきシート生徒の記述 B評価

| A評価の記入例                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | B評価の記入例                                           |         |                                                          |                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |         |         |                                            |                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|---------|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------|--------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| <table border="1"> <tr> <th>本時の振り返り</th> <th>次時への見通し</th> </tr> <tr> <td>葉をぬる時は、光のついでに葉の色を現わすように筆を動かして色を塗る。筆を動かして色を塗る。筆を動かして色を塗る。</td> <td>木琴の手を使ってぼかしを塗る。木琴の手を使ってぼかしを塗る。木琴の手を使ってぼかしを塗る。</td> </tr> </table><br> <p>「昆虫」</p> | 本時の振り返り                                           | 次時への見通し | 葉をぬる時は、光のついでに葉の色を現わすように筆を動かして色を塗る。筆を動かして色を塗る。筆を動かして色を塗る。 | 木琴の手を使ってぼかしを塗る。木琴の手を使ってぼかしを塗る。木琴の手を使ってぼかしを塗る。 | <table border="1"> <tr> <th>本時の振り返り</th> <th>次時への見通し</th> </tr> <tr> <td>本時、木琴の部分をぬり始めることはできたけど、まだ全てぬり終わることができなかった。</td> <td>まっさらな形をぬっていくのはみ出さずに行っていねいにぬってみたい。景などの系田か所を完成させたい。</td> </tr> </table><br> <p>「演奏」</p> | 本時の振り返り | 次時への見通し | 本時、木琴の部分をぬり始めることはできたけど、まだ全てぬり終わることができなかった。 | まっさらな形をぬっていくのはみ出さずに行っていねいにぬってみたい。景などの系田か所を完成させたい。 |
| 本時の振り返り                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 次時への見通し                                           |         |                                                          |                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |         |         |                                            |                                                   |
| 葉をぬる時は、光のついでに葉の色を現わすように筆を動かして色を塗る。筆を動かして色を塗る。筆を動かして色を塗る。                                                                                                                                                                                                                                                        | 木琴の手を使ってぼかしを塗る。木琴の手を使ってぼかしを塗る。木琴の手を使ってぼかしを塗る。     |         |                                                          |                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |         |         |                                            |                                                   |
| 本時の振り返り                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 次時への見通し                                           |         |                                                          |                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |         |         |                                            |                                                   |
| 本時、木琴の部分をぬり始めることはできたけど、まだ全てぬり終わることができなかった。                                                                                                                                                                                                                                                                      | まっさらな形をぬっていくのはみ出さずに行っていねいにぬってみたい。景などの系田か所を完成させたい。 |         |                                                          |                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |         |         |                                            |                                                   |

| A評価の理由                                                                                                                                                                                                                                   | B評価の理由                                                                                                                                                                                                                       |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>本題材で使用しているアクリルガッシュは、均一な色面を塗るのに適したマットな質感の絵の具である。生徒は意図的に“筆を水でぬらし（＝水分量を多くし）”、水彩絵の具のようなぼかしや濃淡によって葉の光沢感を表そうとしていることが読み取れる。また、着色にあたり、筆を使うだけではなく“手（指）を使ってぼかしたりする”ことで、サナギの表面の質感を出そうと試みている。絵の具の生かし方を考え、意図に応じて様々な表し方を工夫して表現しようとしているためAと評価する。</p> | <p>本時、木琴を塗っていく上で、どのような点に気を付けたり自分なりに工夫しながら取り組んだかが具体的ではない。また、“丁寧に塗っていく”という表現は、次時への見通しとして抽象的かつ曖昧である。“はみ出さずに塗る”ために、扱う筆の種類や適切な水の量、これまでに学習した塗り方（平塗りの技法）などに留意する記述が入ってくると良い。木琴をより立体的に表すための陰影に着目することで、自らの作品の改善点について考えているためBと評価する。</p> |

きらめきシートのループリックの例

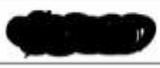
|    |      |    |           |
|----|------|----|-----------|
| 教科 | 保健体育 | 単元 | ゴール型・サッカー |
|----|------|----|-----------|

| 評価基準 |          | 評価の根拠                                                                                |
|------|----------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| A    | 十分に満足できる | 基本的な技能の名称などを用いて説明をすることができる。スキルアップのために考えたことや取り組みの内容を具体的に記述したり、仲間に伝えたりしたことを記述することができる。 |
| B    | おおむね満足   | 基本的な技術の名称などを用いて、記述をしている。スキルアップのために考えたことや取り組みの内容を記述することができる。                          |
| C    | 努力を要する   | 基本的な技能の名称を書いている。                                                                     |

生徒の記述 A評価

| 第3回目                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 今日のねらい → 正確なパスを出そう！                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 10月21日                                                                              | 狙った相手にパスを出すことができましたか。                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <input type="radio"/>                                                                                                                                                                                                                                                               | <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> |
| 前回設定した今日の目標を達成することはできましたか。                                                          | 課題を改善するために、どのようなことを工夫しましたか。                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 今回の課題と次回の目標                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                        |
| ボールが浮いてしまったり、まっすぐ蹴れなかったりしたが、今回はうまく蹴れる時と蹴れないときがあった。前回よりはうまくいった。                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>ボールの下の方を蹴るから浮いてしまう？→ボールの中心を蹴りやすいように、ボールの横に蹴らない方の足を置いてボールとの距離が一番蹴りやすいような体制で蹴るよう心掛けた。→中心を蹴れるようになったので浮かなくなった。</li> <li>ボールが斜めに行ってしまうのは、足の向きが相手の方向に向いていないから？→校庭の横線に足の内側（土踏まず側）を合わせてその線と同じ向きでボールを蹴って、ボールが斜めに行ってしまうことを防ぐようにした。→初めの頃より斜めに行かなくなったが、まだ安定せず斜めに行ってしまうことが多々ある。</li> </ul> | <p>【今回の課題】</p> <p>ドリブル練習の時、ボールに集中するから下ばかり見ていて、ペアで走りながらパスし合う練習がすごく難しく、インサイドキックは正確にパスするのが目的なのにドリブルしながらインサイドキックをすると全然正確にパスが通らなかった。</p> <p>【次回の目標】</p> <p>インサイドキックは、この工夫した練習方法で練習し、完璧にする。</p> <p>ドリブルでは、ボールの方をずっと見ている。試合の時相手の位置が把握できないし、うまく活用できないと思うからドリブル練習で前を向きながらもドリブルができるようになる。</p> |                                                        |
| 上手な人、取り組み方が良かった人                                                                    | そう思った理由（上手な人、授業の取り組み方や準備・片付けなど）                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                        |
|  | 隣でやっているのを見ている、私のインサイドキックの課題である、『浮く、斜めに行く』が全てが完璧で、石橋さんの蹴るフォームを見たりして研究させてもらったから。                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                        |

生徒の記述 B評価

| 第7回目                                                                                |                                                                                                                                   | 今日のねらい → ミニゲームをしてみよう！②                                                                                              |                                                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 11月4日                                                                               | 自分が出したいところにボールを出すことができましたか？                                                                                                       | <input type="radio"/>                                                                                               | <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> |
| 前回設定した今日の目標を達成することはできましたか。                                                          | パスが繋がりがやすくなるために、どんなことを工夫しましたか。                                                                                                    | 今回の課題と次回の目標                                                                                                         |                                                        |
| 作戦を立てることは達成できなかったが積極的に声を出し、仲間を呼んでそっち空いてる！などのコミュニケーションをとるといことは達成できた。                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>仲間がどこにいるのかを確認するためにボールだけを見ず、一瞬でもコートを見渡すことで次に仲間がどう動くかや仲間と自分の間でディフェンスがどれくらいいるのかを知る</li> </ul> | <p>【今回の課題】</p> <p>視野が狭く、仲間が呼んでいることに気づくことができなかった。</p> <p>【次回の目標】</p> <p>視野を広くし仲間とのパスがスムーズにできるよう、相手に詰めすぎず、コートを見る。</p> |                                                        |
| 上手な人、取り組み方が良かった人                                                                    | そう思った理由（上手な人、授業の取り組み方や準備・片付けなど）                                                                                                   |                                                                                                                     |                                                        |
|  | 呼ぶ声はなかったか状況を見て自分がどう動けばいいかを判断し、いいタイミングでディフェンスを出し抜きパスをきってコートしてくれた。                                                                  |                                                                                                                     |                                                        |

きらめきシートのループリックの例

|     |        |     |                 |
|-----|--------|-----|-----------------|
| 教科名 | 技術・家庭科 | 単元名 | コンピュータと情報ネットワーク |
|-----|--------|-----|-----------------|

| 評価基準 |          | 評価の根拠                                                                        |
|------|----------|------------------------------------------------------------------------------|
| A    | 十分に満足できる | 本時の目標と自分の目標を関連させ、できたこと、できなかったこと、これからどうするか、などで自分の学習を振り返り、具体的かつ、効果的な改善策の記述がある。 |
| B    | おおむね満足   | 結果だけの記入やできたこと、できなかったことの記述がある。                                                |
| C    | 努力を要する   | 本時の目標と自分の振り返りが関連していない。                                                       |

| きらめきシート生徒の記述 A評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | きらめきシート生徒の記述 B評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>生徒A</p> <p>本時の目標<br/>アナログ情報とデジタル情報の特徴を覚え、区別がつくように勉強をする。</p> <p>本時の振り返り<br/>(+できたこと、-できなかったこと、→これからどうするか)<br/>+アナログ情報は連続的に変化するもの、デジタル時計は連続していない情報だということがわかった。<br/>-bitやBなどのデータ量の単位の大きさを覚えられなかった。<br/>→単位の頭文字を順番に覚えて、テストの時簡単に答えられる様にする。</p> <p>生徒B</p> <p>本時の目標<br/>パソコンのデータなどについて詳しく調べて、理解する。</p> <p>本時の振り返り<br/>p.198から、200ページにかけて、アナログやデジタルなどの情報、解像度などは理解できた。しかし、p.201ページの解像度の階調とデータ量の単位、ファイル形式がよく理解できていなかったため、テストの時に階調とファイル形式をよく理解しておきたい。</p> | <p>生徒C</p> <p>本時の目標<br/>デジタルとアナログについてしっかり覚えること<br/>データ量の単語について知る<br/>テストで出来るだけ多くの問題を正解すること<br/>まとめる</p> <p>本時の振り返り<br/>デジタルとアナログについてはまとめられたが、データ量の単語はまとめられなかった。<br/>テストの点数取れなかった。<br/>次回は時間配分を考えたい</p> <p>生徒D</p> <p>本時の目標<br/>アナログ情報やデジタル情報について理解する。</p> <p>本時の振り返り<br/>アナログ情報やデジタル情報は理解できたが、ファイル形式は理解できていなかった。次回は、細かいところも、理解していきたい。</p> |



おわりに

本校は、令和2・3年度の2年間「主体的・対話的で深い学びの評価 ～生徒の意欲を向上させる評価の仕方～」を研究主題に墨田区教育委員研究協力校として研究を進めて参りました。研究活動は研究部を中心に、新学習指導要領における主体的・対話的で深い学びを実現し、生徒の学びに向かう力、人間性等を伸ばすために主体的に学習に取り組む態度をどのように評価すればよいかを各教科を中心に進めて参りました。また、研究のための研究に陥らないよう、常に日常の教育活動に活かせる研究になるように心掛けてきました。その結果、研究を進めるにつれ生徒の自主的・意欲的に授業に取り組む姿勢の向上に確かな手応えを感じることができました。今後も授業改善を続け、確実に生徒の学力向上につなげていく所存です。

最後になりましたが、これまで御指導いただきました聖徳大学教授 河村 久先生、墨田区教委員会の皆様に心から感謝申し上げます。

副校長 遠藤 博則

研究に携わった教職員

令和3年度

|        |      |     |        |     |     |
|--------|------|-----|--------|-----|-----|
| 校長     | 織部   | 明広  | 教諭     | 横田  | 麻朱美 |
| 副校長    | 遠藤   | 博則  | 教諭     | 宮野  | 舜二郎 |
| 主幹教諭   | 田上   | 淳   | 教諭     | ○竹内 | 千晶  |
| 主幹教諭   | 鍬形   | 志穂  | 養護教諭   | 榮山  | 浩美  |
| 主幹教諭   | ○石塚  | 浩章  | 非常勤職員  | 鎗田  | 悦男  |
| 主任教諭   | ○長野  | 実   | 講師     | 栗飯原 | 雅子  |
| 主任教諭   | 島田   | ちえ子 | 講師     | 辻   | 順子  |
| 主任教諭   | ○三輪  | 実   | 講師     | 篠   | 恵子  |
| 主任教諭   | 早狩   | 朋子  | 講師     | 油井  | 亜貴子 |
| 主任教諭   | 上田   | 友里  | 講師     | 行方  | 正仁  |
| 主任教諭   | 堀米   | 寛子  | 経営支援員  | 江口  | 実   |
| 主任教諭   | 澤    | 雅敏  |        |     |     |
| 主任栄養教諭 | 日高   | 耕佑  |        |     |     |
| 教諭     | 石川   | 由里  |        |     |     |
| 教諭     | 本多   | 弘太  | 令和2年度  |     |     |
| 教諭     | 阿部   | 秀行  | 副校長    | 土田  | 治   |
| 教諭     | 藤田   | 雄   | 主任教諭   | 三浦  | 啓治  |
| 教諭     | 八木橋  | 昌幸  | 主任栄養教諭 | 長瀬  | 真奈美 |
| 教諭     | ○小曾根 | 慧太  | 主任教諭   | 風間  | 佳子  |
| 教諭     | 昆野   | 有沙  | 教諭     | 町田  | 健吾  |
| 教諭     | 武富   | 麻衣  | 教諭     | 吉岡  | 才智  |

○は研究推進委員



令和2年度卒業生 宇佐美 茉奈 画  
広報誌「たてかわ」第58号表紙より 豎川中学校校舎